

2008 年度

科目名 教育実習指導（英語）	対象学科・学年 文学部英米4回生 教育教福3回生	担当者 三木 徹
授業テーマ 中学校と高等学校「教育実習」の意義理解と教職への一体感の形成		
授業の概要と目標 「教育実習」は、大学における教育職員養成課程の諸授業を基盤とし、中学校・高等学校の教育現場にて「教員」候補生として直接的・体験的に実地研修する課業です。本講座では、教育実習を事前・実地（実習）・事後のまとまりと位置づけ、教員としての資質・能力の向上を図るとともに、教職への理解をさらに深め、教職へのより一層の一体感を培うことを目標とします。事前研究として「教育実習の意義・内容・方法」、事後研究では「体験に基づく教職観」に重点が置かれます。		
評価方法 事前指導への参加姿勢、教育実習日誌、教育実習終了報告書を基に、総合的に評価を決定します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 図書館の指定図書を活用してください。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 教職課程・「教育実習」の意義について考察する。 2. 教育実習の場・「中学校・高等学校」の営みについて知る。 3. 「教育実習」実施前準備オリエンテーション（学校訪問の心得） 4. 資料を基に、学校教育活動と実習生の実務について知る。 5. 教育実習生対象の人権教育研修会（人権教育の推進について学ぶ。） 6. 実習生の心得の確認と中学校・高等学校の学習指導要領の内容理解 7. 板書計画についての説明と実習 8. 教材作成の実習 9. 教室英語の習得 / 指導案作成のポイント解説 10. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（学校教育活動について） 11. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（生徒理解について） 12. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（教科指導について） 13. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（研究授業について） 14. 教育実習日誌と実習終了報告書の作成 15. 自らの教職志向の決意とこれからの大学生活 ・ 昨年度の「英語科教材研究」での課業・活動を踏まえ、それをさらに発展させていく形で事前指導を行ないます。 ・ 指導案作成については、「英語科教材研究」で説明していますので、事前指導では簡単に触れる程度にとどめますが、「教材研究」を履修していない人については個別指導を行ないますので、事前指導時に申し出てください。		